

民報

あばしり

NO.1266

5月3、10日号

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二、四四五八
F 四三二、四四五七



一律10万円など直接支援策示される

網走市は、プレミアム飲食券などの経済対策に続いて、市内の飲食店や北海道の休業要請した事業者、さらにホテル、旅館業、バス、タクシー事業者へ支援する案（左表のとおり）を、5月1日に開かれる第2回臨時会に提案し、可決される見通しです。

4月20日の臨時会では、多くの議員が、家賃や水光熱費など固定費に対して、直接支援を求めています。今回の対策はその声を受けたもので、早急な対応が求められています。

新たな支援大学生や労働者へ

しかし今、大学生のアルバイトがなくなり、大学を辞めざるを得ない状況があり、学費援助など、さらに求められます。失業や休職に追いやられた労働者への対応もあります。市は市内の状況をつかみ、早急な対応をすべきです。

アンケート返信次々と

今、日本共産党網走市委員会では新型コロナウイルスに関するアンケート調査を行っています。この間、43件の回答がありました。マスクや消毒液不足、病院関係の資材不足、自公政権の遅れた対応、子どもの不安や網走市の対応などについて、意見が届いています。

引き続き受け取りますので、是非、皆さんのご意見をお寄せください。

アンケートのQRコード



ホームページからも回答することができます。



先日、市民から「能取湖にアサリ狩りで大勢の人が来ていて、密状態に

なっているから新型コロナウイルスに感染するのではないか」との連絡でした。翌日、雨模様でしたが、見回ってみたところ「湖の近くや道路に止めていたり、わき道などに車が20台ほど駐車していました」。ほとんどは北見ナンバーでしたが、旭川や本州のナンバーも何台ありました。こんなに雨が降っているのにも思いながら徐行して回りました。

湖のわきに西網走漁協が掲げた「注意を警告する看板や潮干狩りをする皆様へ」の看板が、ところどころに立ててありました。内容は、採捕できる水産動物は「アサリ等の貝類」とあり、使用する道具についても書いていました。一人一人がルールを守り、節度をもって採ってほしいものですね。また、ゴールデンウィーク中なので、大勢で押しかけて密にならないようにして欲しいです。



PCR検査について網走保健所に確認した。

熱が37度5分以上に上がり、かかったかなと思ったら、まず保健所に連絡。保健所は患者から症状を聞き、厚生病院と打ち合わせ、患者に再度連絡する。患者が厚生病院に行く。疑いがあれば病院は検体を採取、保健所は検体を北見保健所などに送る手配をする。相談件数は400件を超え、平均1日約10件と保健所職員は大変だ。

感染者は網走に確認されていないが、無症状の感染者がいるなら、安心など全くできない。症状が無くても検査できるようにしないと以前の生活は戻らない。早く、国の検査体制を変えなくては。検体採取を病院の外ですることや、かかりつけ医の判断で検査できるようにするなど改善点はたくさんある。

後援会員からのアンケートが毎日届いている。市からの感染情報や対策が伝わってこないという意見も多い。

流水

世の中、何が起るかわからない。世界中を震撼させるコロナウイルスの発生、感染の猛威は人々を恐怖に落とし入れている。▼カ

ンボジアプノンペン市、市内13路線の目に走行していた市バスがコロナで運行停止、買い物などの足を失った。カンボジアのお正月は4月（13、16日）今年、コロナ感染防止のため正月中止。州を跨ぐ人の移動も禁止となった。プノンペン市のコロナ感染者はゼロ、カンボジア国全体でも122名、コロナに対する政策対応は早く徹底していた。私達夫婦は出国制限が解けて、4月にやっと帰国した。▼外国からの入国なので二週間の自主隔離、気温差30度は年寄りにはキツイ、厚着しストーブの前で冬眠中です。▼日本のコロナ対策はお粗末で後手後手だ。『お金がない』『お金を出したくない』安倍首相、姑息にも『アベノマスク』二枚で済ませようとした。マスク不要とは言わないが優先順位があるだろうと世論の厳しい声に予算を組み換え、国民一人に10万円支給する事となった。世界中が認めている韓国の積極的コロナ感染防止対策に学ぶべきと思う。もっと医療にお金を出すべきである。自粛要請は休業要請と一体に補償が必要で重要だ。コロナを抑え込む、国民の命を守る、営業を守る、そして暮らしを守る。政治が国民のために力を尽くすのは当然のこと！大きく声を上げて行きましよう！

アスリート爺